

地元の小学生が熊野川の対策工事現場を見学しました ～ 対策現場を活用し防災学習を支援！ ～

～紀伊山系砂防事務所～

田辺市立鮎川小学校の5年生が、防災学習の一環で熊野川の深層崩壊箇所を見学。完成した砂防堰堤の機能や、現在行っている工事の状況について、熱心に勉強していました。紀伊山系砂防事務所では、今後もこのような現場を活用した防災学習を支援する取り組みについて、積極的に進めて参ります。

熊野川(和歌山県田辺市熊野)では平成23年9月の紀伊半島大水害発災当時、幅440m、高さ250m、長さ480mの崩壊が発生し約526万 m^3 にのぼる崩壊土砂が河道を閉塞しました。現在は、管理用道路を作る工事、斜面の土砂の崩壊を防止するための工事などを実施しています。

国土交通省職員による対策工事の説明



講話を聞きながら熱心にノートをとる生徒たち



現地にて深層崩壊箇所の説明を聞く生徒たち



荷物を運べるドローンを順番に持ち上げる生徒たち



生徒からはこんな質問が…

- 質問 崩れたところに木が生えますか？
 答え 表面の栄養のある土が全部流されて岩がむき出しになりますので崩れた斜面に木は生えにくいです
- 質問 荷物を運べるドローンは、今どんなところで使われているのですか？
 答え 崖崩れの現場等で人の行きにくい場所で荷物を運んでいます

開催日：平成31年2月14日(木)13時～15時
 場所：熊野川床固工群(和歌山県田辺市)
 参加者：田辺市立鮎川小学校5年生 27名

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 紀伊山系砂防事務所 工務課
 〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
 TEL 0747-25-3111 (代)

